



令和5年6月

桃山中学校ハッピー桃太郎だより

～誇りのもてる学校をめざして～



『6月からの新たなスタート!』

校長 谷川 正己

梅雨入りとなり、じめじめとした蒸し暑い天気が続いています。体調を崩しやすい季節ですので、健康管理に気をつけ過ぎましょう。令和5年度がスタートして2か月以上が経ち1学期も残りわずか1か月となりました。その間、3年生は熊本・長崎への修学旅行、2年生は宗隣寺で座禅を組むなどの地域学習、1年生は下関市長府への社会見学や初めての中間テストも経験しました。昨年までコロナの影響で何かと多かった制約もなくなり、生徒の皆さんがのびのびと活動することが当たり前になったことを実感しています。

また、アフターコロナとなり、地域の方々から「地域行事に中学生の力を貸してほしい」との声がたくさん届いています。地域で行う新たなウォーキングイベントへの参加や夏休みにある夏祭りのボランティア活動などです。コロナ禍で中止されていた行事が復活する中で、以前のごとく地域が明るく結束するためのイベントに皆さんも協力してみませんか。生徒会執行部に「桃山中ボランティアプロジェクト」として旗振り役をお願いしています。地域の一員として多くの方と関わり合い貢献することで、自分を成長させるとともに、桃中生としての誇りを感じてほしいと思います。

さて、県選手権予選が先日行われ、どの種目も激闘を繰り広げた末に、剣道部、卓球部、ソフトテニス部男・女の選手たちが7月下旬にある県選手権大会の出場権を得ました。同時に、その他の3年生運動部員はここで引退となりました。例年より早い部活動引退となりますが、気持ちをしっかりと切り替えて次の目標をもち、頑張してほしいと思います。7月からは高校等の体験入学が始まり、明確な目標をもつための道しるべとなることでしょう。そして、新チームに切り替わった1、2年生は新しいリーダーのもと一丸となり、9月の新人大会に向けチーム力を高めていってほしいと思います。6月からの「Restart」(再スタート)をそれぞれが決めていくことを願っています。

【市春季大会・県選手権大会予選会の様子】

